

役員などのCOI自己申告書 2020.1.01 12.31

(就任時の前年から1年ごとに過去3年分提出)

一般社団法人 日本腎臓学会理事長 殿

申告者氏名(会員番号)

018879 船越雄太

所属（機関・教室/診療科）・職名：

南京44號 熊后匠 癩 七-月- 腎臟內科。即手

本学会での役職名： ☐理事長 ☐理事 ☐監事 ☐学術総会長 ☐次回学術総会長 ☐東西学術大会会長

特定委員会名 ☐ 委員会委員長 ☐ 学術総会企画委員会 ☐ 学会誌編集委員会

☒診療GL策定に関わる委員会 ☐倫理委員会 ☐利益相反委員会

☐学会従業員 ☒その他

A. 自己申告者自身の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ☐有 ☒無
(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)			
	企業 団体名	役 職(役員・顧問など)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 1000万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益（最近1年間の本株式による利益） ☐有 ☒無
 (1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

(1) 一つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものに記載				
	企 業 名	持ち株数	申告時の株値 (一株あたり)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ☐有 ☒無
(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

(1)の特許使用料が年間100万円以上のものを記載)			
	企業 団体名	特 許 名	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表、助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬

(1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載) ☐有 ・ ☒無

	(1)の正業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載)	(2)有	(3)無
	企業 団体名		金額区分
10			

金額区分：①50万円以上 100万円以上 200万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」にしを付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ☐有 ・ ☒無
(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業	団体名	役職(役員・顧問など)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 1000万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益) ☐有 ・ ☐無
(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ☐有 ・ ☐無
(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業	団体名	特許名	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

C. 申告者の所属する研究機関・部門(研究機関、病院、学部またはセンターなど)の長にかかる institutional COI開示事項(申告者が所属研究機関・部門の長と過去に共同研究者、分担研究者の関係にあったか、或いは現在ある場合に該当する)

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目に開示基準額以上であれば、金額区分番号をご記入ください。

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 ☐有 ・ ☐無

(1つの企業・団体が契約に基づいて、申告者の医学系研究(助成研究、共同研究、受託研究など)に関連して、当該の長が過去3年以内に実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたものを記載)

	申告者所属の長の職名・氏名	企業 団体名	研究費区分	金額区分

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他
開示基準額 1000万円/企業/年 金額区分：① 1000万円≤ ② 2000万円≤ ③ 4000万円≤

2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金 ☐有 ・ ☐無)

(1つの企業・営利団体から、申告者の研究に関連して、所属研究機関そのものあるいは、部門（病院、学部またはセンター、講座）の長に提供され、過去3年以内に実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたものを記載)

開基額	企業 団体名	金額区分	示 準
200万円/企業/年 金額区分：① 200万円≤ ② 1000万円≤ ③ 2000万円≤			

3. その他（申告者が所属する研究機関そのもの、あるいは機関・部門の長が本学会の事業活動に関係する企業などの株式保有、特許使用料、あるいは投資など） ☐有 ・ ☐無)

(本学会の事業活動において影響を与える可能性が想定される場合に記載)

所属機関、部門あるいはその長の職名・氏名	企業 団体名	研究費区分	コメント

項目区分：①株式（5%以上） ②特許 ③投資（例、ベンチャー企業） ④その他

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本腎臓学会での職務遂行上で妨げとなる これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお 本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は 公開することを承認します。

申告日（西暦）2023 年 12 月 9 日

申告者署名

山本 雄太



受付番号：_____

(本申告書は、任期満了、あるいは委員の委嘱撤回の日から2年間保管されます)

自己申告書の欄が足りない場合に記入出来なかったものについてご記入ください。

(別紙)

申告者氏名： 船越 雄太

<申告事項>

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額
2. 株の保有と、その株式から得られる利益（就任時前年度1年間の本株式による利益）
3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬
4. 企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
8. 企業などが提供する寄付講座
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）

申告者 (A・B)	申告 番号	企業・団体名	適用（役職・特許名・研究費種類 など *2の場合は持ち株数および株価を記載	金額区分 (各項目を参照して下さい)

* 記載項目数が足りない場合はコピーしてください。

役員などのCOI自己申告書 2021.1.01 12.31

(就任時の前年から1年ごとに過去3年分提出)

一般社団法人 日本腎臓学会理事長 殿

申告者氏名(会員番号)

船越 雄太 (018879)

所属(機関・教室/診療科)・職名:

東京大学医学部附属病院 腎臓内科 助手

本学会での役職名: ☐理事長 ☐理事 ☐監事 ☐学術総会長 ☐次回学術総会長 ☐東西学術大会会長

特定委員会名 ☐委員会委員長 ☐学術総会企画委員会 ☐学会誌編集委員会

☒診療GL策定に関わる委員会 ☐倫理委員会 ☐利益相反委員会

☐学会従業員 ☒その他

A. 自己申告者自身の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ☐有 ・ ☒無

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

企業 団体名	役職(役員・顧問など)	金額区分

金額区分: ①100万円以上 500万円以上 1000万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益) ☐有 ・ ☒無

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分

金額区分: ①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ☐有 ・ ☒無

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

企業 団体名	特許名	金額区分

金額区分: ①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表, 助言など)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬

(1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載) ☐有 ・ ☒無

企業 団体名	金額区分
10	

金額区分: ①50万円以上 100万円以上 200万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」にしを付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ☐有 ・ ☐無
(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名 企業 団体名	申告者との関係	
		役職(役員・顧問など)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 1000万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益（最近1年間の本株式による利益） ☐有 ・ ☐無
(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ☐有 ・ ☐無
(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業 団体名		特許名	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

C. 申告者の所属する研究機関・部門（研究機関、病院、学部またはセンターなど）の長にかかる institutional COI開示事項（申告者が所属研究機関・部門の長と過去に共同研究者、分担研究者の関係にあったか、或いは現在ある場合に該当する）

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目に開示基準額以上であれば、金額区分番号をご記入ください。

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 ☐有 ・ ☐無

(1つの企業・団体が契約に基づいて、申告者の医学系研究（助成研究、共同研究、受託研究など）に関連して、当該の長が過去3年以内に実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたものを記載)

	申告者所属の長の職名・氏名	企業 団体名	研究費区分	金額区分

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他
開示基準額 1000万円/企業/年 金額区分：① 1000万円≤ ② 2000万円≤ ③ 4000万円≤

2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金 ☐有 ・ ☐無)

(1つの企業・営利団体から、申告者の研究に関連して、所属研究機関そのものあるいは、部門（病院、学部またはセンター、講座）の長に提供され、過去3年以内に実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたものを記載)

開基額	企業 団体名	金額区分	示準

200万円/企業/年 金額区分：① 200万円≦ ② 1000万円≦ ③ 2000万円≦

3. その他（申告者が所属する研究機関そのもの、あるいは機関・部門の長が本学会の事業活動に関係する企業などの株式保有、特許使用料、あるいは投資など） ☐有 ・ ☐無)

(本学会の事業活動において影響を与える可能性が想定される場合に記載)

所属機関、部門あるいはその長の職名・氏名	企業 団体名	研究費区分	コメント

項目区分：①株式（5%以上） ②特許 ③投資（例、ベンチャー企業） ④その他

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本腎臓学会での職務遂行上で妨げとなる これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお 本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は 公開することを承認します。

申告日（西暦）2023 年 12 月 9 日

申告者署名 丹古 雄大 

受付番号：_____

(本申告書は、任期満了、あるいは委員の委嘱撤回の日から2年間保管されます)

自己申告書の欄が足りない場合に記入出来なかったものについてご記入ください。

(別紙)

申告者氏名： 船越雄太

<申告事項>

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額
2. 株の保有と、その株式から得られる利益（就任時前年度1年間の本株式による利益）
3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬
4. 企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
8. 企業などが提供する寄付講座
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）

申告者 (A・B)	申告 番号	企業・団体名	適用（役職・特許名・研究費種類 など *2の場合は持ち株数および株価を記載	金額区分 (各項目を参照して下さい)

* 記載項目数が足りない場合はコピーしてください。

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」にしを付けてください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 ☐有 ・ ☐無
(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名	申告者との関係	
	企業 団体名	役 職 (役員・顧問など)	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 1000万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益（最近1年間の本株式による利益） ☐有 ・ ☐無
(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名	申告者との関係		
	企業 名	持ち株数	申告時の株値（一株あたり）	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 ☐有 ・ ☐無
(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名	申告者との関係	
	企業 団体名	特 許 名	金額区分

金額区分：①100万円以上 500万円以上 ③1000万円以上

C. 申告者の所属する研究機関・部門（研究機関、病院、学部またはセンターなど）の長にかかる institutional COI 開示事項（申告者が所属研究機関・部門の長と過去に共同研究者、分担研究者の関係にあったか、或いは現在ある場合に該当する）

該当する方の口にしをお付けください。

☒すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

☐申告事項有り：下記の該当項目に開示基準額以上であれば、金額区分番号をご記入ください。

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 ☐有 ・ ☐無

(1つの企業・団体が契約に基づいて、申告者の医学系研究（助成研究、共同研究、受託研究など）に関連して、当該の長が過去3年以内に実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたものを記載)

	申告者所属の長の職名・氏名	企業 団体 名	研究費区分	金額区分

研究費区分：①産学共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他
開示基準額 1000万円/企業/年 金額区分：① 1000万円≤ ② 2000万円≤ ③ 4000万円≤

2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金 ☐有 ・ ☐無)

(1つの企業・営利団体から、申告者の研究に関連して、所属研究機関そのものあるいは、部門（病院、学部またはセンター、講座）の長に提供され、過去3年以内に実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたものを記載)

開 基 額	企業 団体名	金額区分	示 準
200万円/企業/年 金額区分：① 200万円≤ ② 1000万円≤ ③ 2000万円≤			

3. その他（申告者が所属する研究機関そのもの、あるいは機関・部門の長が本学会の事業活動に関係する企業などの株式保有、特許使用料、あるいは投資など） ☐有 ・ ☐無)

(本学会の事業活動において影響を与える可能性が想定される場合に記載)

所属機関、部門あるいはその長の職名・氏名	企業 団体名	研究費区分	コメント

項目区分：①株式（5%以上） ②特許 ③投資（例、ベンチャー企業） ④その他

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本腎臓学会での職務遂行上で妨げとなる これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお 本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は 公開することを承認します。

申告日（西暦）2023 年 12 月 9 日

申告者署名 船越 雄太



受付番号：_____

(本申告書は、任期满了、あるいは委員の委嘱撤回の日から2年間保管されます)

自己申告書の欄が足りない場合に記入出来なかったものについてご記入ください。

(別紙)

申告者氏名： 船越 雄太

<申告事項>

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額
2. 株の保有と、その株式から得られる利益（就任時前年度1年間の本株式による利益）
3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬
4. 企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
8. 企業などが提供する寄付講座
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）

申告者 (A・B)	申告 番号	企業・団体名	適用（役職・特許名・研究費種類 など *2の場合は持ち株数および株価を記載	金額区分 (各項目を参照して下さい)

* 記載項目数が足りない場合はコピーしてください。